

TRANSFORMABLE-REMOTE-I/O
AI-MODULE ADX -PDC-12B

ADIOX-MK

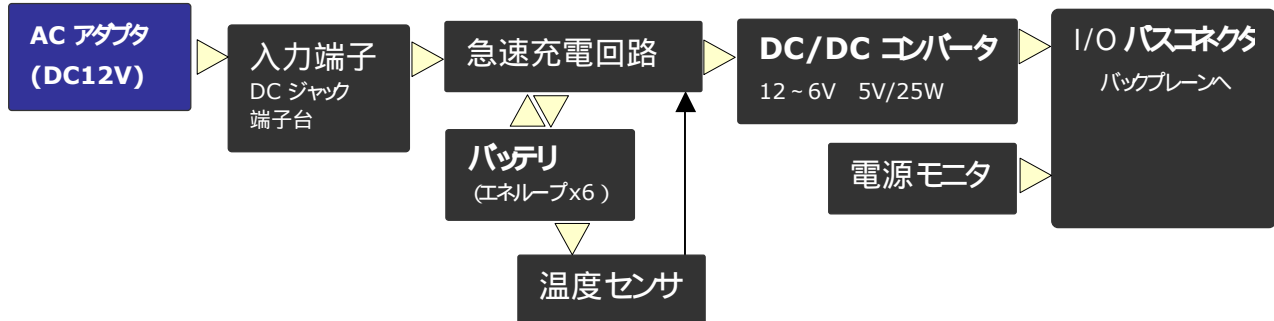
MULTIFUNCTION-I/O-X2
TRANSFORMABLE REMOTE I/O
POWER-MODULE
ADX -PDC-12B
USER MANUAL
UPDATE 2010-9-11

SAYA INC.

1. 概要

MultifunctionI/O-X シリーズ、トランスフォーマブル・リモートI/O のパワーモジュール(I/O モジュール) **ADX -PDC-12B** は、DC12V に対応する電源モジュールで、急速充電回路、6セル7.2Vのバッテリーを搭載します。このモジュールを電源とすることで、フィールドでの使用、無停電システムなどへのアップグレードを可能にします。オプションで12Vの専用ACアダプタを用意しており、AC100Vでの運用も可能です。

Transformable remote I/O system



2. 基本仕様

寸法(代表値)	:122.1 × 97 × 43.6mm (2 スロット分、フロントベゼルより前方の突出部分除く)
入力電圧(本体)	:DC11.5 ~ DC12.5V (本体) :AC100~240V (AC アダプタ使用時)
最大出力	:25.0W
バッテリー	:サンヨーエネロープ・ニッケル水素単 3 型 × 6 本
バッテリー充電時間	:約 3 ~ 4 時間
バッテリー稼働時間	:15Watt/H 程度
充電電流	:694mA
充電カットオフ機能	:タイマー / V 検出 / セル電圧 1.7V / 過剰温度
絶縁	:なし (AC アダプタ部分は絶縁)
周囲温度	:0 ~ 40 (動作時) - 35 ~ 85 (保存時)
湿度	:10 ~ 90%RH(動作時 結露なきこと)
ROHS	:対応

3. 電源モニタ機能

以下のジャンパをショートすることで、電源の状態をマスターモジュールに通知します。但しI/O リソースを消費します。いずれもI/O 番号がバッチイングしないようにしてください。

JP1	:外部入力電圧を1/10 にしてAI15 に接続
JP2	:バッテリー電圧を1/10 にしてAI14 に接続
JP3	:充電中フラグをDI15 に接続

4. コネクター一覧

内容	部品番号	コネクター形状
バックプレーン接続I/Oコネクター	CN2	1.27mmピッチ基板連結コネクター
給電コネクター	CN1	端子台

5. 注意点・その他

5.1 一般禁止事項

高温、多湿、急激な温度変化（結露）、静電気、腐食性ガス（強酸、強力アルカリを含む）、導電性の粉塵、振動、基板へのストレス、衝撃、過電圧、逆電圧、短絡、出力端子の過負荷や出力同士のショート、紫外線および短い波長の電磁波を大量に浴びせる事、カビ、強電界・強磁界など、電子機器にとって有害な環境での使用を避けて下さい。このような状況下における使用は、保証外、サポート対象外になります。また、システムへの組み込みの際には、十分な検証を行って下さい。

5.2 本仕様書の扱い

<製品との相違>

本仕様書は、ご利用者が理解しやすいよう努力しておりますが、万一、本仕様書と製品が異なる場合には、製品を優先させていただきます。また、本仕様書の主観的解釈の可能な箇所についても、同様に、製品を優先とさせていただきます。

<品質と機能>

本製品の品質および機能が、ご利用者の使用目的に適合することを保証するものではありません。従って、本製品の選択導入はご利用者の責任でおこなっていただき、本製品の使用や、その結果の直接的または間接的ないかなる損害についても同様とします。従って、システムに組み込む場合、十分な検証を行って下さい。

<バージョンアップ>

ドライバや仕様書のバージョンアップや修正などを、ホームページ、メール、CDROM の配布等の何らかの手法で提供いたします。ただし、弊社の諸事情により迅速な対応がとれない場合もあります。また、これらは、その遂行義務を弊社が負うものではありません。

5.3 長期の保存

本製品を長期保存なさる場合、結露やタンポールから発生する硫化水素ガスなどによって、短期間に腐食する場合があります。これを防ぐには、結露しない環境に保管し、かつ腐食性ガスを遮断できるようにビニールなどでパッケージングして下さい。また、長期保存後は、2～3時間のエージングをなさってから使用して下さい。

5.4 総合信頼性試験等

本製品は、PC や、さらにその上位の装置に組み込まれたり、運動して動作します。このため、温度サイクル、静電破壊などの諸条件に対する能力は、組み込まれるPC や装置全体によって、大きく左右されます。また、使用環境の温度、湿度、温度変化、通風状況、粉塵状況、電磁波状況、振動によっても必要な環境適応能力は異なってきます。ゆえに、これら組み込みシステム上での信頼性を要求される場合には、別途総合試験を行なって、仕様環境に耐えることを確認する必要があります。

5.5 工業所有権、著作権

本製品の使用により、第三者の工業所有権・著作権に関わる問題が生じた場合、弊社の製造、製法に関わるもの以外については、弊社はその責を負いませんのでご了承下さい。また、弊社の許可無しに、回路、プログラマブルデバイス構成データ、ボード上のEEPROM、ドライバソフトウェアに対するリバースエンジニアリングを禁止します。このような結果生じた損害についても、弊社はその責を負いません。

5.6 用途

本製品を輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通信号制御、防災・防犯設備、航空機、宇宙機器、潜水艦、海底中継機器、原子力発電所、軍事機器、人命に直接関わる医療機器などの極めて高い安全性を要求される用途へのご検討の際には、弊社までご連絡下さい。

5.7 用バッテリー関連の注意事項

バッテリーの過充電を行わないでください。過充電は、AC アダプタの抜き差しを頻繁に行うこと、AC アダプタを接続した状態で、このAC アダプタへの給電を、頻繁にON/OFF することで発生します。

充電ランプが点灯、その後、充電ランプが消灯したら満充電です。ここで再び充電させる場合、必ず2時間程度運用してからにしてください。こうすることで過充電を防ぐ事ができます。

発煙状態、異常な高温状態の場合、すぐさま給電を停止して、本体から離れてください。

バッテリーは指定のバッテリー（エネルギー（ニッケル水素）単3×10）以外を使用しないでください。

バッテリーを外した状態で、AC アダプタから給電しないでください。（内部温度が上昇し、破損する恐れがあります）

付属のAC アダプター以外は使用しないでください。

バッテリーには寿命があります。使用状態にもよりますが、満充電容量が減ってきた頃が、バッテリーの寿命です。一般的な使い方であれば1000回程度の繰り返し充電が可能です。